

市民公開シンポジウム－４

中本 富美

国立病院機構 医王病院 主任医療社会事業専門職 いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」センター長

主な活動内容医王病院は神経筋難病や重症心身障害児（者）などの障害者医療に特化した病院です。2022年4月に石川県より委託を受け、病院内に医療的ケア児支援センターを開設致しました。名称は「このこの」—医療的ケアが必要なひとりひとりの“この子”の暮らし・育ち・家族・経験・あゆみを応援し、かかわる人とのつながりを大切にしていきたいと活動をしてまいりました。「教育」「医療」「福祉」の3つの柱のもと、支援者を対象とした研修会や子どもや保護者と企画する写真展や災害対策等勉強会を通じて、子どもたちをいつも見守っている保護者や支援者とのつながりを重視し、子どもたちが生き生きとそのいのちの輝きを放つことをかなえられる地域づくりを目指しています。

市民公開シンポジウム－５

高村 理恵

重症児・医療的ケア児相談事業さくらんぼすまいる 代表

活動内容：2020年12月設立、障がいのある子の親を中心とした15名のメンバーで、保護者同士のピアサポート相談会や勉強会、施設見学会、親子イベントを実施。令和4年度より6年度までの3年間「金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業」に採択され、令和7年度より金沢市障害福祉課の委託事業となる。これまでの主なイベントは、嚥下の難しい子のための食事支援教室「楽もぐカフェ」、石川トヨペットカローラとの共催で非常時の電源についての体験勉強会、県の支援センターや親の会と共催した「防災デイキャンプ～ふだんのケアは災害時どうなる？～」など。また、金沢障害福祉課と作成した「医療的ケアやサポートが必要な子の子育てハンドブック」を、市の機関や関連施設、デイサービスなどの支援者などの協力を得て配布中。最近ようやく大病院小児科でも一部配布が開始されたが、まだまだ必要な方には届いていない現状。わが子の障がいかわかってすぐの、NICUや医師による診断時が親にとってもっとも苦しい時期なので、少しでも早く支援の情報を届け、私たちが心に寄り添えるよう、医療関係の皆さまにもぜひご理解とご協力を求めたい。「障がいの有無にかかわらず、すべての親がしあわせな子育てのできる社会」を目指し、さまざまな人や団体に「寄り添う・つなげる・ひろげる」活動をしている。